



Contents

- なぜ我々は決して広島を忘れてはならないのか
—CNNへの寄稿—
- 戦後歴代在任期間第6位
- マレーシア1泊2日弾丸ツアー



マレーシアで行われたASEAN+3外相会議

マレーシア1泊2日弾丸ツアー

8月5日から6日にかけて、ASEAN外相会議などに出席するため、岸田文雄外務大臣はマレーシアを訪問しました。しかし国会では安保法制などの審議のため、外遊のための十分な時間を得ることができず、1泊2日という弾丸ツアーになってしまいました。
今回はその弾丸ツアーの日程の一部を紹介します。



EAS(東アジアサミット)参加国外相会議



中国の王毅外交部長



韓国のユン外交部長官



アメリカのケリー国務長官



8月5日(水)

- 10:00 参議院平和安全特別委員会開始
- 12:00 委員会休憩(昼食)
- 13:00 委員会再開
- 17:00 委員会終了
- 18:00 羽田空港着
- 18:30 マレーシアに向け出発
(所要6時間13分)
(時差-1時間)
- 23:43 グアラルンプール空港着
- 0:40 宿舎着

8月6日(木)

- 7:00 朝食
- 8:00 事前打ち合わせ
- 8:40 宿舎発
- 8:55 会場着
- 9:10 ASEAN+3外相会議
- 10:20 日米外相会談(ケリー国務長官)
- 10:45 東アジアサミット外相会議
- 11:50 北朝鮮外相との会談(李洙墉外相)
- 12:30 昼食
- 午後 ARF閣僚会合
- 13:25 日韓外相会談(ユン外交部長官)
- 14:30 日中外相会談(王毅外交部長)
- 16:00 マレーシアのアマン外相と懇談
- 16:40 会場発
- 17:30 グアラルンプール空港着
- 17:40 羽田空港に向け出発
(所要6時間40分)
- 01:20 羽田空港着

岸田文雄後援会事務所

●国会事務所
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1222号室
TEL (03) 3508-7279 (直通) FAX (03) 3591-3118

●広島事務所
〒730-0013 広島市中区八丁堀6-3
和光八丁堀ビル9階
TEL (082) 228-2411 (代表) FAX (082) 223-7161

●岸田文雄ホームページ
<http://www.kishida.gr.jp/>

ケータイ用サイトQRコード

岸田文雄プロフィール

昭和32年生まれ。早稲田大学法学部卒業後、(株)日本長期信用銀行等を経て、平成5年の衆議院議員総選挙において初当選。以後8期連続当選中。

自民党青年局長・商工部会長・経理局長、建設政務次官・文部科学副大臣、衆議院厚生労働委員長などを歴任後、平成19年の第一次安倍改造内閣において内閣府特命担当大臣(沖縄担当など)で初入閣。初代消費者行政推進担当大臣として消費者庁新設の土台を作る。

平成23~24年にかけて野党自民党において国会対策委員長として指揮をとり、与党に対して厳しい国会追及を行い、解散に追い込む。

また24年には保守本流の政策集団である「宏池会」の会長に就任する。

平成24年の衆議院総選挙後に発足した第二次安倍内閣において外務大臣として入閣、続く第二次安倍改造内閣・第三次安倍内閣でも引き続き再任され、現在戦後外務大臣の在任期間歴代6位という長さとなっている。

岸田文雄フェイスブック

<https://www.facebook.com/fkishida>



なぜ我々は決して広島を忘れてはならないのか
外務大臣 岸田文雄

CNN(米国ニューヨーク専門放送局)への寄稿

1945年8月6日、一発の原子爆弾が、私の出身地である広島で13万人以上の命を奪いました。70年を経て、ある被爆者の言葉が私の心に特に深く刻み込まれ、実際、私自身の信念ともなりました。それは「被爆体験は思い出したくないが、2度と繰り返さないために忘れないようにしている。」という言葉です。広島及び長崎への原爆投下70年にあたり、より平和な未来を確保するためには、過去から学ぶことが不可欠です。

日本は長きにわたり、核兵器を廃絶するための世界的な活動の第一線に立ち続けてきましたが、今日においても、そのコミットメントはこれまで同様に揺るぎないものです。世界の核兵器保有国が自ら核兵器を廃棄するとの考えに対し、多くの疑念があることは承知していますが、日本の外務大臣として、そして広島出身者として、「核兵器のない世界」という目標は達成可能であり、それを追求すべきであると心から信じています。

地球上には現在、約16,000の核弾頭が存在しています。冷戦ピーク時の70,000からは大幅な削減かもしれませんが、依然として多すぎ、また、廃絶に向けた進捗は強く支持してきており、今後も支持します。また、アジア及び世界において、厳格な輸出管理の促進を続けていきます。

イランとの核合意には当然世界中の関心が集まっていますが、私たちは、その合意を歓迎し着実な実施を望みます。このため、これらの措置を検証するにあたってIAEAが果たす極めて重要な役割と、天野之弥事務局長の強いリーダーシップを完全に支持します。

今月には包括的核実験禁止条約(CTBT)に関する賢人グループ会合が、また来年4月にはG7外相会合がいずれも広島で開催されますので、これらの全ての課題について議論したいと考えています。

4月に安倍総理とオバマ大統領は、核兵器不拡散条約に関する共同声明の中で以下のとおり述べました。「広島及び長崎の被爆70年において、我々は、核兵器使用の壊滅的で非人道的な結果を思い起こす。広島と長崎は永遠に世界の記憶に刻み込まれるであろう。」

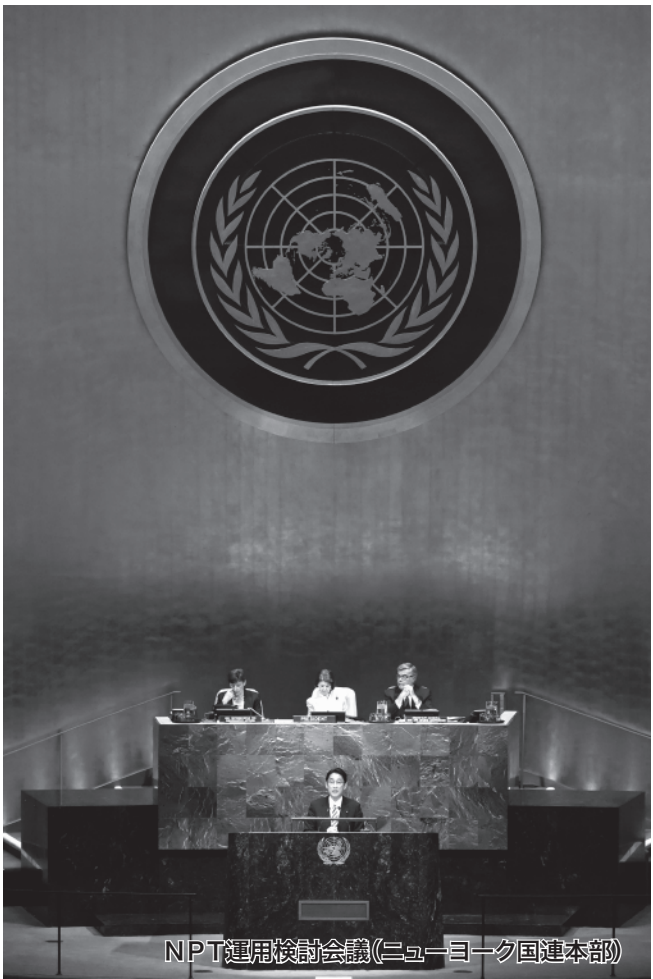
この声明でも明らかにように、我々が後世に残すべき遺産は、日本が原爆による破壊を目撃した地球上で最初の、そして最後の場所であり続けるというものでなければなりません。

遅すぎます。

2011年に米露間で署名された戦略核兵器削減条約(新START)は、この数をさらに削減するでしょう。しかし、核軍縮を追求するという責務は、最大数の核兵器を保有しているこの二か国だけにあるのではなく、他のすべての核保有国もいずれ核軍縮の交渉に参加すべきです。これを念頭に、いまだに核軍縮への努力に取り組んでいない国々に対し、核兵器の全廃という最終的な目標に向けて核兵器を削減するよう求めます。

しかし、核兵器を廃絶するのであれば、核兵器への依存の高まりを防ぐことが喫緊の優先事項です。すなわち、核兵器数の削減には、安全保障戦略及び軍事ドクトリンにおける核兵器の役割と重要性を低減させる取組が伴わなければなりません。残念なことに、いまやいくつかの国では、その総合的な防衛戦略の中で、より大きな重点を核兵器に置いているように見受けられます。これは明らかに誤った方向への一歩です。

先般、核兵器不拡散条約(NPT)運用検討会議が正式なコンセンサスに達することができなかったことに、私は非常に



残念に思います。それにもかかわらず、同会議の合意案の中には、世界の核兵器に関する完全な説明責任及び透明性の必要性など、広範な支持を得た要素が多く含まれており、これらは失われるべきではありません。配備及び備蓄された核兵器の正確な状況を把握しなければ、核軍縮の課題に適切に対処することはできません。また、透明性の向上により、この問題で進展がみられているのだと人々が確信を築いていくことができます。それゆえ、我々はすべての核保有国からの明確なデータを求めます。

人々からの支援はこのような変革に不可欠であり、そのような考えから私は、世界の政治指導者と若者に対し、広

島と長崎を訪問し、核兵器がもたらす壊滅的で非人道的な結果を自らの目で見ていただきたいと思います。このような訪問だけでも、核軍縮に向けた強力な原動力となると信じるものです。

不拡散の問題は軍縮の問題と密接に関連しています。私は、北朝鮮に対し、国際社会からの再三の要求に従い、すべての核兵器及び現存する核計画を放棄するとのコミットメントを果たすべく具体的な措置を取ることを強く求めます。

IAEAの保障措置制度の強化は、核物質の非平和的な利用への転用を防ぐ上で不可欠な手段であり、日本はこれ

戦後外務大臣の在任期間でついに6位の長さに

8月23日、岸田文雄外務大臣は、戦後の外務大臣として在任期間が歴代6位となりました。また9月20日には、いよいよ在任1000日を迎えることとなりました。5位より上は、藤山愛一郎外相・河野洋平外相・安倍晋太郎外相・大平正芳外相・吉田茂外相と、歴史の教科書に出てくるような人物ばかりとなりました。

日本を取り巻く外交課題はまだまだ山積している中、岸田文雄外相の動向は世界中から注目をされているのです。

順位	役職	氏名	総在職日数	訪問国・地域数
1	外務大臣 兼任外務大臣	吉田 茂	1909	(記録無し)
2	外務大臣	大平 正芳	1472	(記録無し)
3	外務大臣	安倍 晋太郎	1334	46 か国(のべ81 か国)
4	副総理兼外務大臣 外務大臣	河野 洋平	1131	31 か国(のべ56 か国)
5	外務大臣	藤山 愛一郎	1106	(記録無し)
6	外務大臣	岸田 文雄	980	38か国・地域(のべ55か国・地域)

平成27年9月1日現在



キューバのフィデル・カストロ前国家評議会議長



G7外相会合(ドイツ)でのワーキングショップ会場へ
左から、伊ジェンティローニ外相・米ケリー國務長官・英ハモンド外相
仏ファビウス外相・独シュタインマイヤー外相・日本岸田文雄外相
加ニ科尔ソン外相・(開催地)リューベックのザクセ市長